



2015年3月 おかげさまで  
創業40周年を迎えます

# 2015年3月期 第2四半期 決算説明会資料

2014年11月14日



パンチ工業株式会社

(証券コード: 6165 東証第一部)

1. 経営環境
2. 2015年3月期 第2四半期決算概況
3. 2015年3月期 業績予想
4. 中期経営計画  
「バリュークリエーション15」の進捗
5. 参考資料

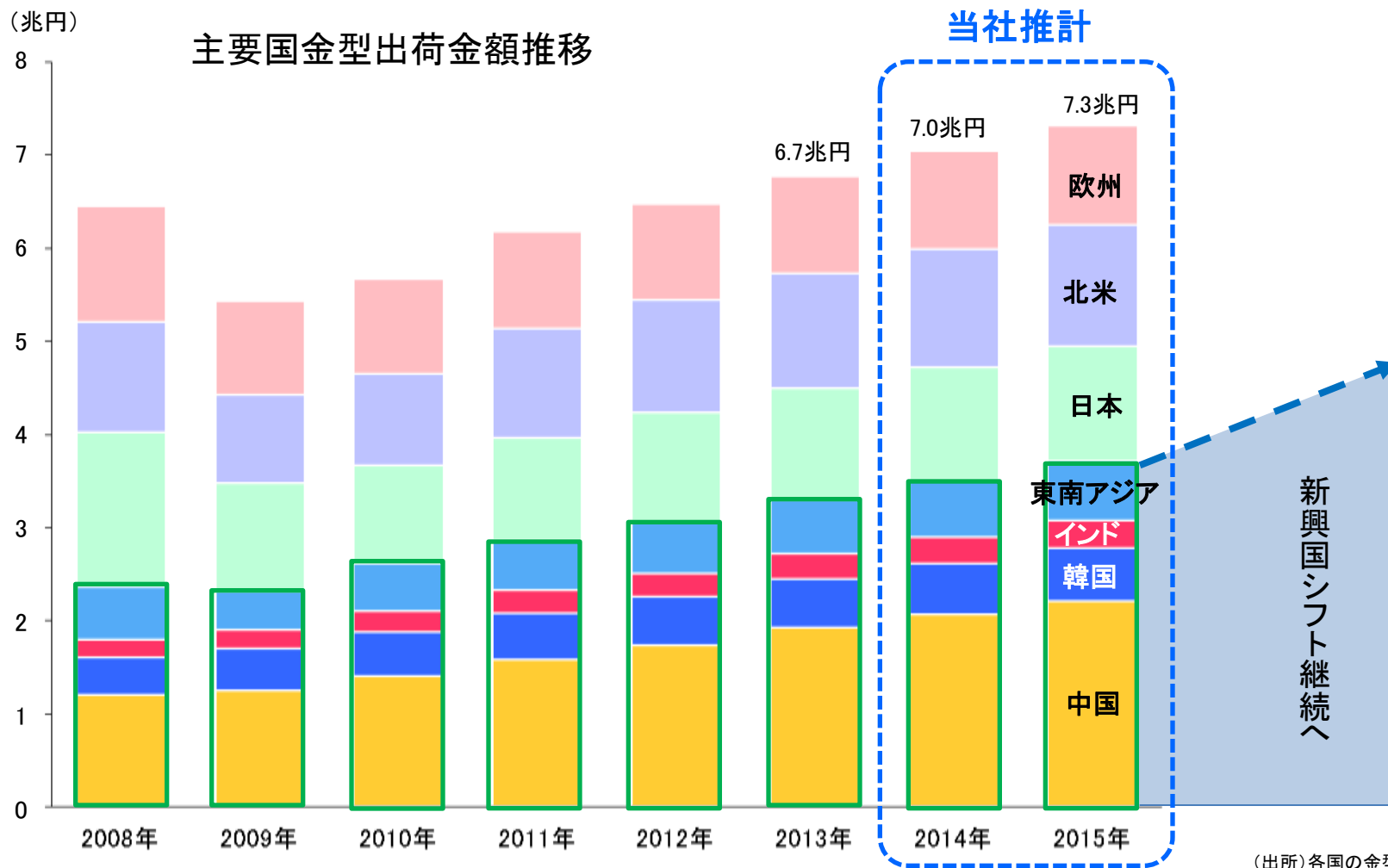


2015年3月 おかげさまで  
創業40周年を迎えます

# 1. 経営環境

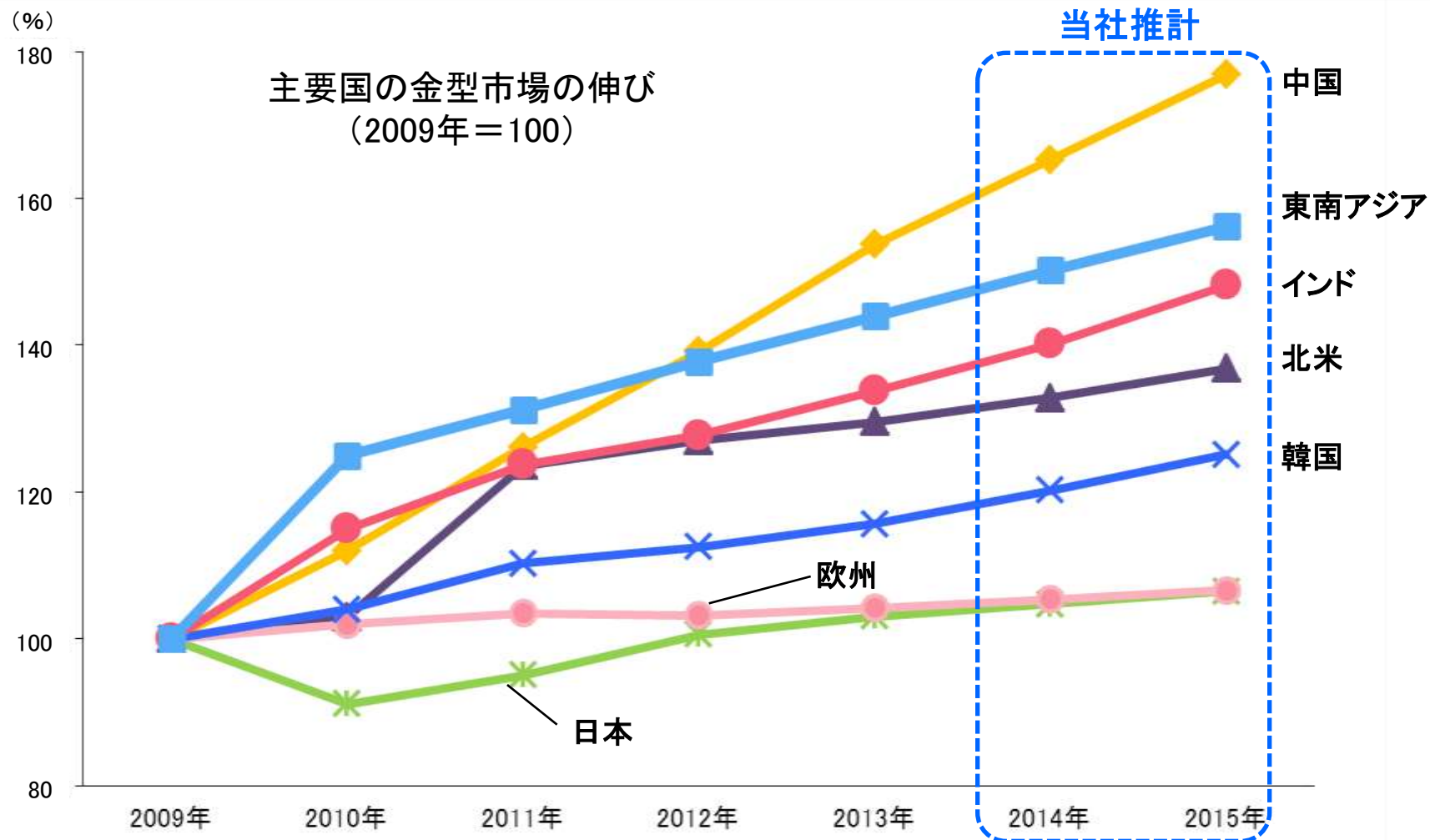
# 金型市場の予想(金額)

リーマンショック直後をボトムに着実に回復。緩やかながらも成長基調。



# 金型市場の予想(成長性)

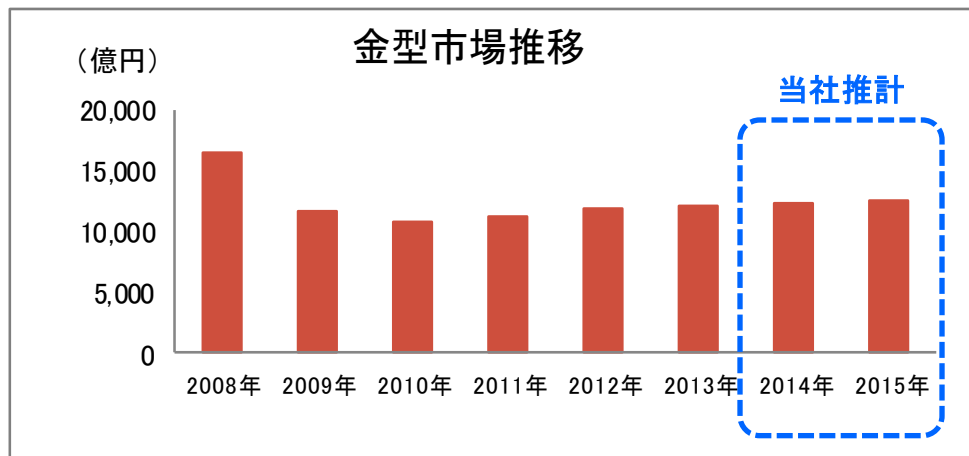
金型需要は成熟市場から新興国市場(中国・インド・東南アジア)へシフト。



(出所)各国の金型工業会



# 国内市場



円安定着で輸出産業が堅調。  
好調な電子部品・半導体に加え、  
自動車も堅調に推移。  
設備投資需要の回復で  
産業機械は大幅増。

## 顧客業界 動向

### 自動車

消費税率見直しによる反動減はあったものの、  
国内生産は前年同期比増。

### 電子部品

中国を中心とした新興国向けスマホが好調。

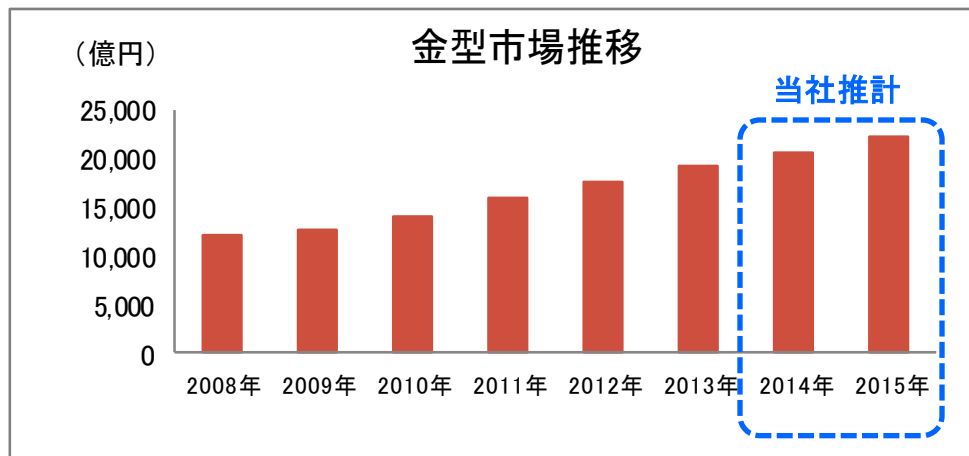
### その他

産業機械は、国内外の幅広い業種で設備投資が回復し、  
円安定着で輸出が伸長。

## 課題

医療関連、食品・飲料関連など新分野への積極的な取り組み。

# 中国市場



住宅・不動産の低迷や過剰生産力の調整はあったものの、好調な自動車に加え、スマホ需要に牽引された電子部品・半導体が大幅増。家電・精密機器も堅調に推移。

## 顧客業界 動向

### 自動車

2Q累計の自動車生産台数は1,178万台と前年比9.6%増で好調を維持。

### 電子部品

低価格モデルのスマホが市場を牽引。

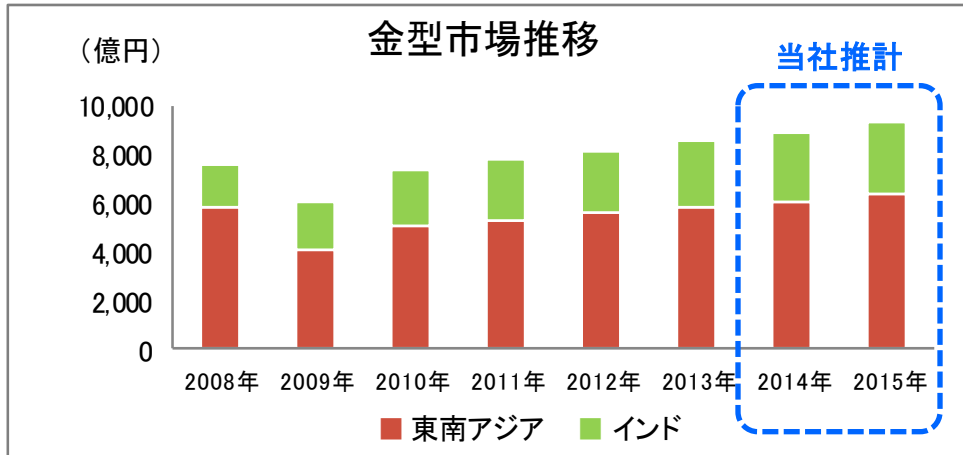
### その他

家電、精密機器も堅調。

## 課題

戦略製品や医療関連など高付加価値製品への取組み。

# 東南アジア・インド市場



【東南アジア】インドネシア、ベトナム、マレーシア、フィリピンなどが牽引し、全体で5%の成長を維持。

【インド】通貨も安定し、成長率も5%超と回復基調へ。

## 顧客業界 動向

### 自動車

北米向けが堅調を維持。

### 電子部品

低価格のスマホやタブレットの需要旺盛で好調。

### その他

医療、食品に期待。

## 課題

事業拡大と成長市場でのポジションの確立。





2015年3月 おかげさまで  
創業40周年を迎えます

## 2. 2015年3月期 第2四半期 決算概況

## 第2四半期 決算ハイライト

第2四半期に入り、国内市場がややスローになってきたものの、中国が堅調に推移したことに加え、東南アジアグループの新規連結もあり、増収増益を確保。

売上	連結	連結売上高は、前年同期比120%、28億円増収の163億円となった。
	日本	好調な電子部品・半導体に加え、自動車や家電・精密機器も堅調に推移。産業機械の復調もあり、前年同期比増となった。
	中国	好調な自動車に加え、電子部品・半導体や家電・精密機器などが堅調。戦略製品も二桁増となり、前年同期を大きく上回った。
	その他	東南アジアグループの新規連結による東南アジア、欧州での売上拡大で大幅増となった。
利益		売上増に加え、工場稼働アップによる原価率の低減及び単体収益体質改革活動の成果もあり、営業利益は前年同期比5.3億円増の9.5億円となった。同時に、経常利益、四半期純利益も前年同期を大きく上回った。
ネット資金		四半期純利益が大幅に増えたため、期首より3.7億円改善した。

## 第2四半期 決算概況

売上高及び各段階利益ともに前年同期実績をクリアし、引き続き堅調に推移。

(単位:百万円)

	2014年3月期 第2四半期累計 実績		2015年3月期 第2四半期累計					
			修正予想 (8/8公表)		実績		前年同期差 (前年同期比)	修正予想差 (修正予想比)
売上高	13,575		16,548		16,350		2,775 (120.4%)	▲197 (98.8%)
営業利益	3.1%	419	5.1%	841	5.8%	950	531 (226.7%)	109 (113.0%)
経常利益	2.4%	329	4.4%	727	5.2%	851	521 (258.2%)	124 (117.1%)
四半期純利益	1.2%	167	3.4%	562	3.9%	644	477 (385.6%)	82 (114.6%)

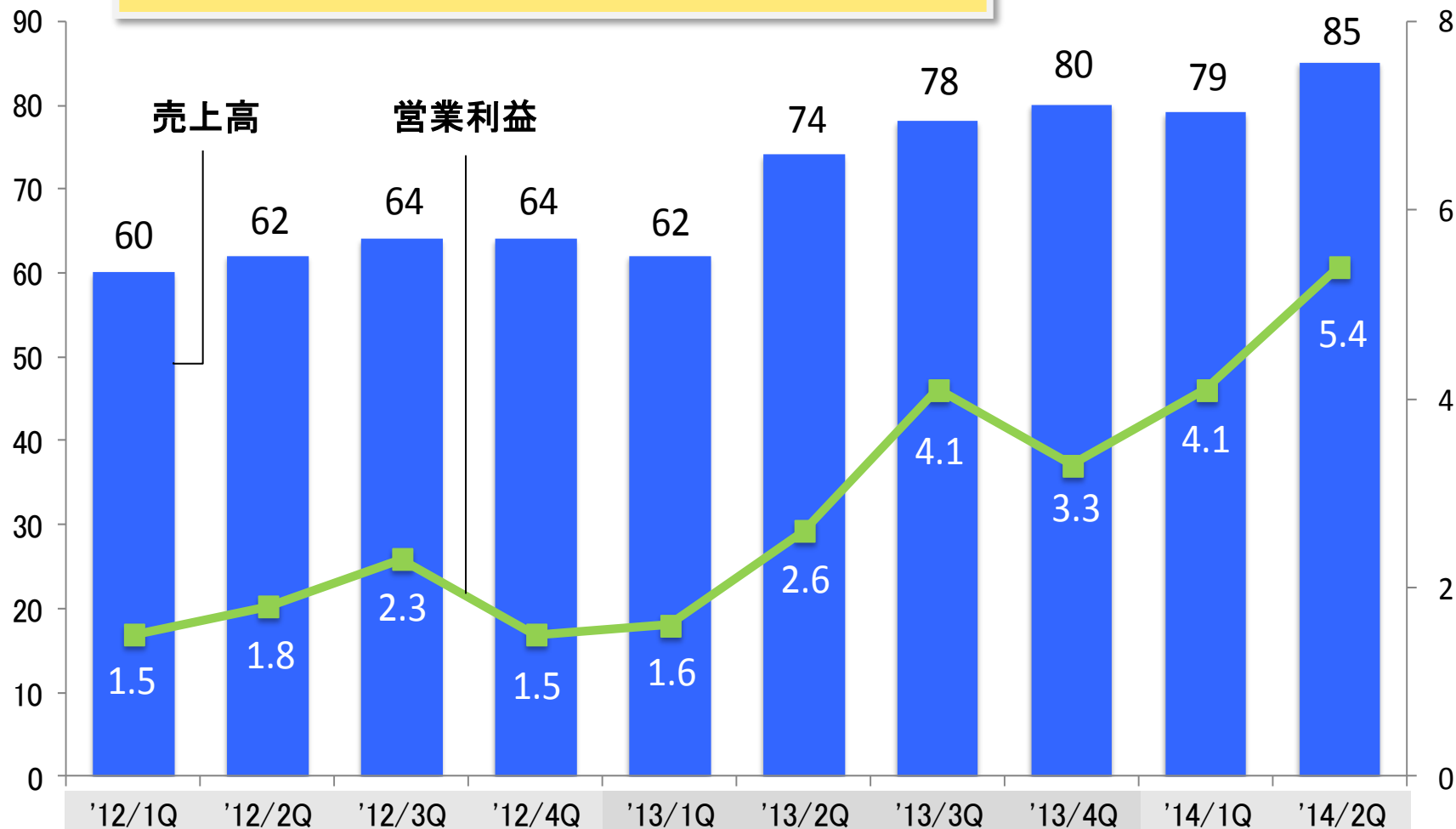


# 売上高と営業利益の推移

売上高  
(億円)

営業利益  
(億円)

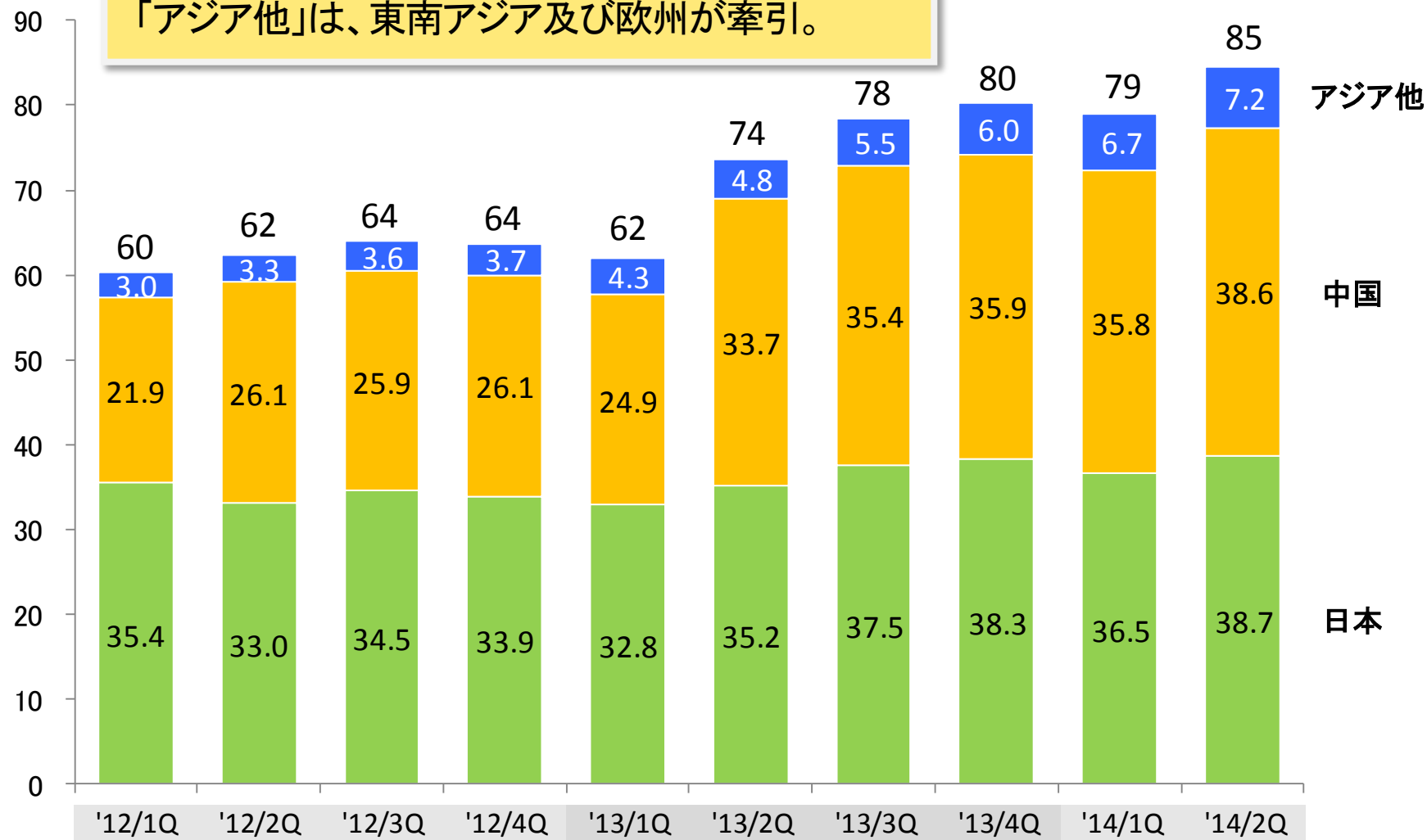
売上高、営業利益ともに過去最高を更新。



# 地域別売上高

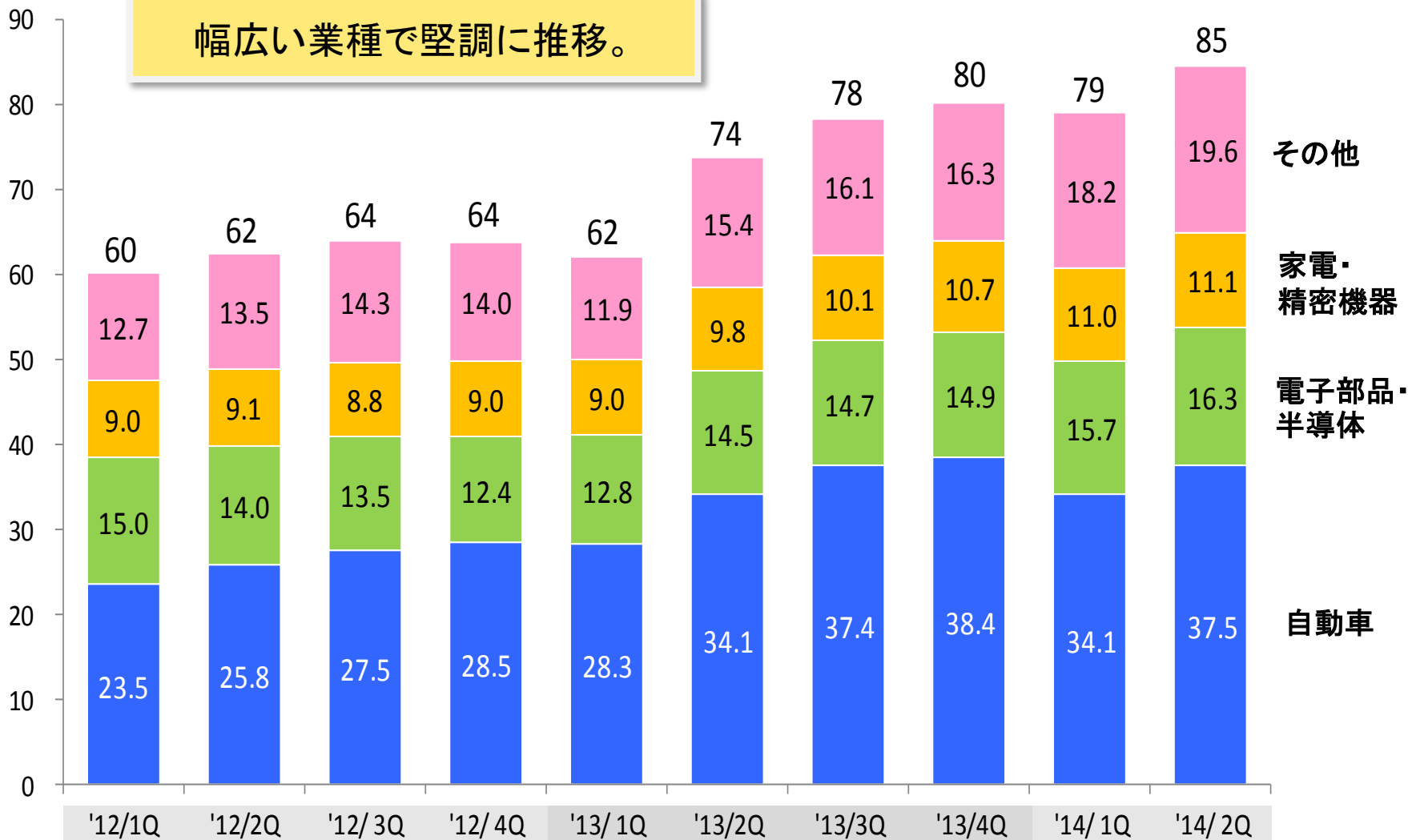
(億円)

四半期ベースで、全地域において過去最高水準。  
「アジア他」は、東南アジア及び欧州が牽引。



# 業種別売上高

(億円)

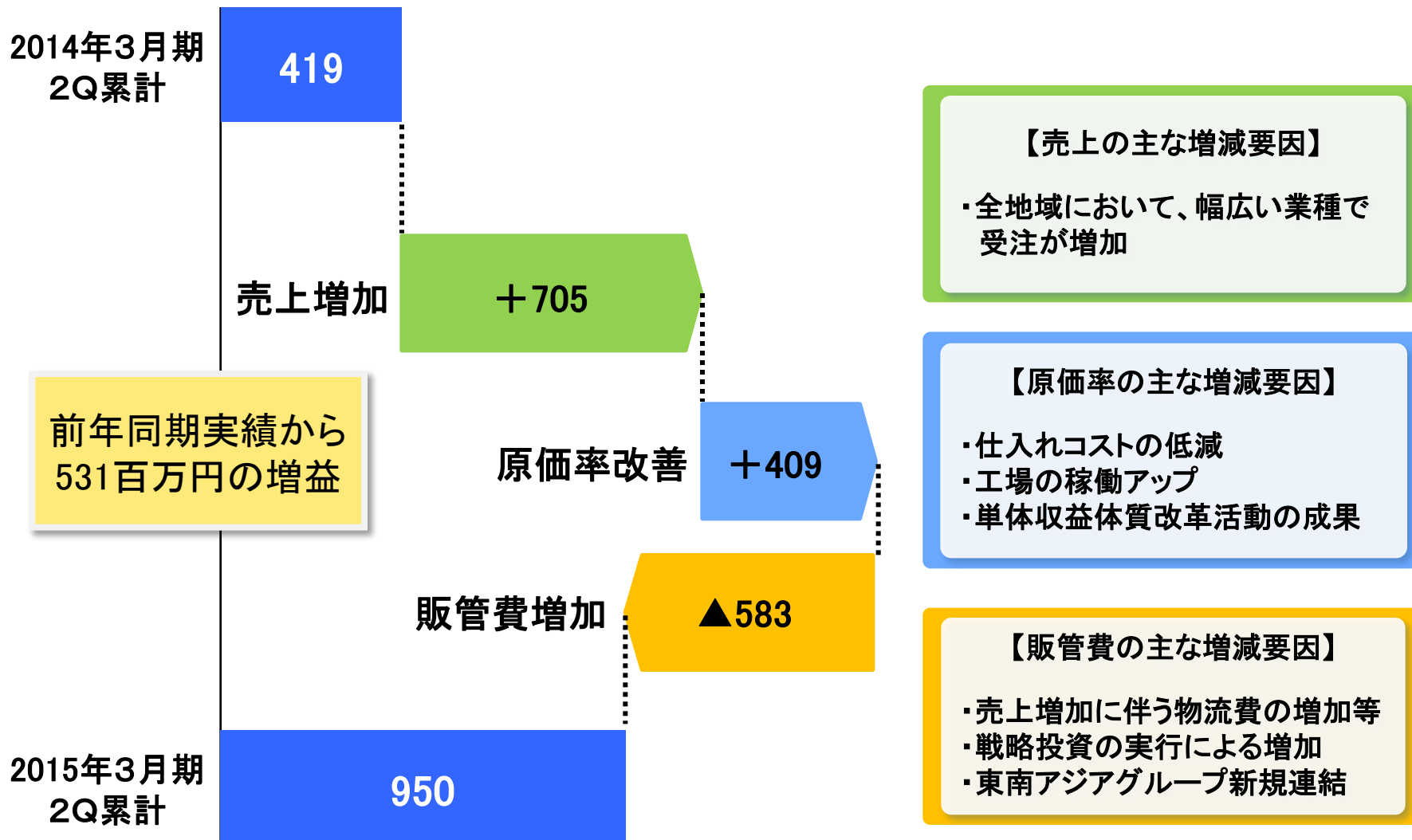


(業種別売上高のグラフは、業種区分見直しに伴い遡及修正をしております。)



# 営業利益増減

(単位:百万円)



# 財務状況

(単位:百万円)

	2014年3月期末	2015年3月期 第2四半期末	比較増減
総資産	24,471	24,883	412
総負債	15,108	15,338	229
うち有利子負債	7,743	7,735	▲8
純資産	9,362	9,545	182
ネット資金	▲6,216	▲5,845	370
自己資本比率	38.2%	38.3%	0.1ポイント

	2014年3月期 第2四半期累計	2015年3月期 第2四半期累計	比較増減
設備投資額(無形固定資産含む)	330	575	244
減価償却費(無形固定資産含む)	524	618	94







2015年3月 おかげさまで  
創業40周年を迎えます

# 3. 2015年3月期 業績予想

# 2015年3月期 業績及び配当の予想

(単位:百万円)

	2014年3月期 実績		2015年3月期 修正予想(8/8公表)		前年差	前年比
売上高		29,436		32,819	3,382	111.5%
営業利益	3.9%	1,161	4.9%	1,619	457	139.4%
経常利益	3.6%	1,047	4.4%	1,439	391	137.4%
当期純利益	2.4%	720	3.2%	1,039	318	144.2%
自己資本利益率 (ROE)		9.6%		10.8%	1.2ポイント	

2015年3月期  
配当

中間配当金10円を実施

年間配当金20円を予定



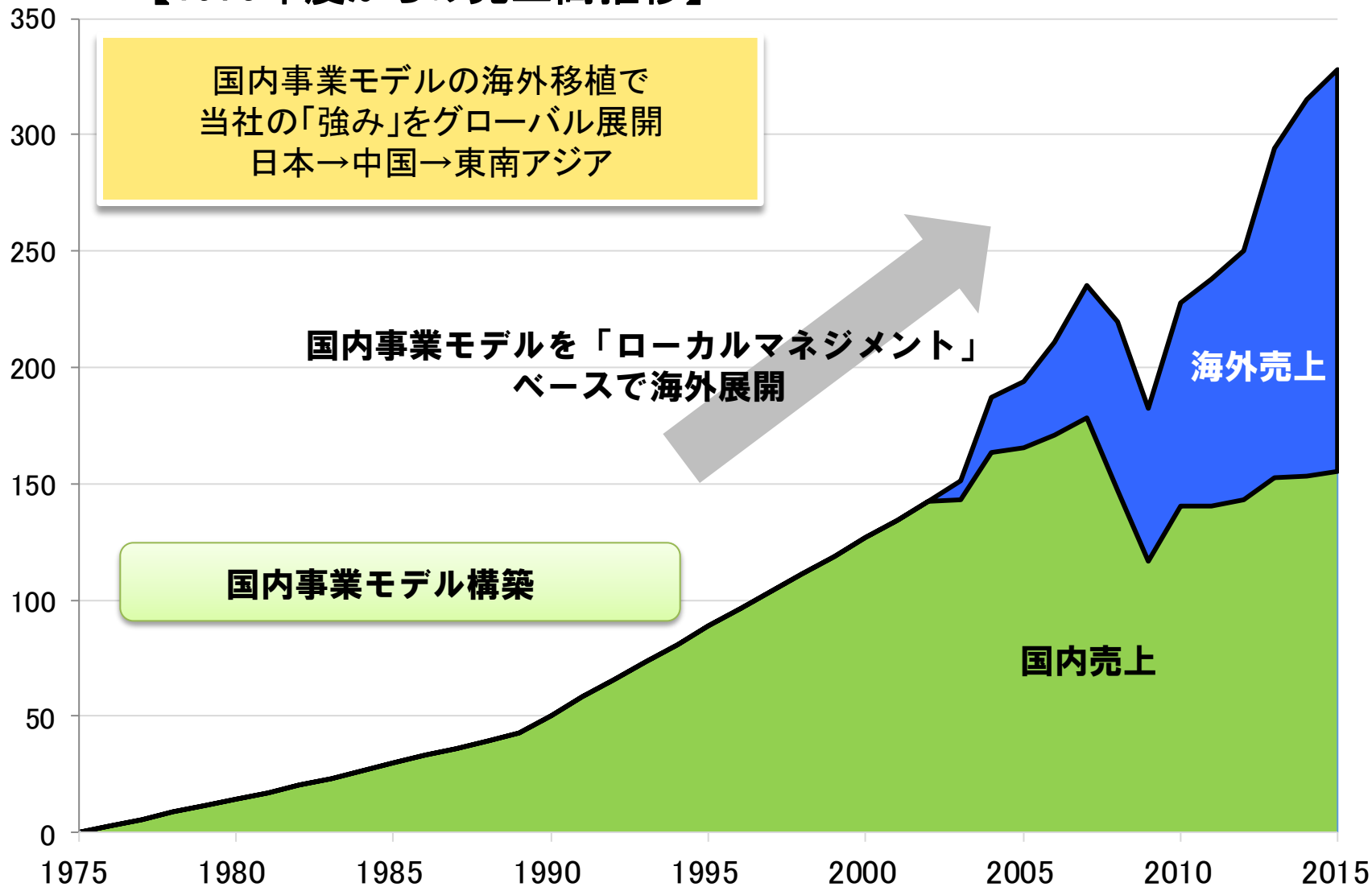


2015年3月 おかげさまで  
創業40周年を迎えます

# 4. 中期経営計画 「バリュークリエーション15」の進捗

# パンチグループの歩み

(億円) 【1975年度からの売上高推移】



国内事業モデルの海外移植で  
当社の「強み」をグローバル展開  
日本→中国→東南アジア

国内事業モデルを「ローカルマネジメント」  
ベースで海外展開

国内事業モデル構築

海外売上

国内売上



# 中期経営計画「バリュークリエーション15」の基本戦略

3つの「対処すべき課題」に「攻め(成長戦略)」と「守り(体制・体質改革)」で取り組む！

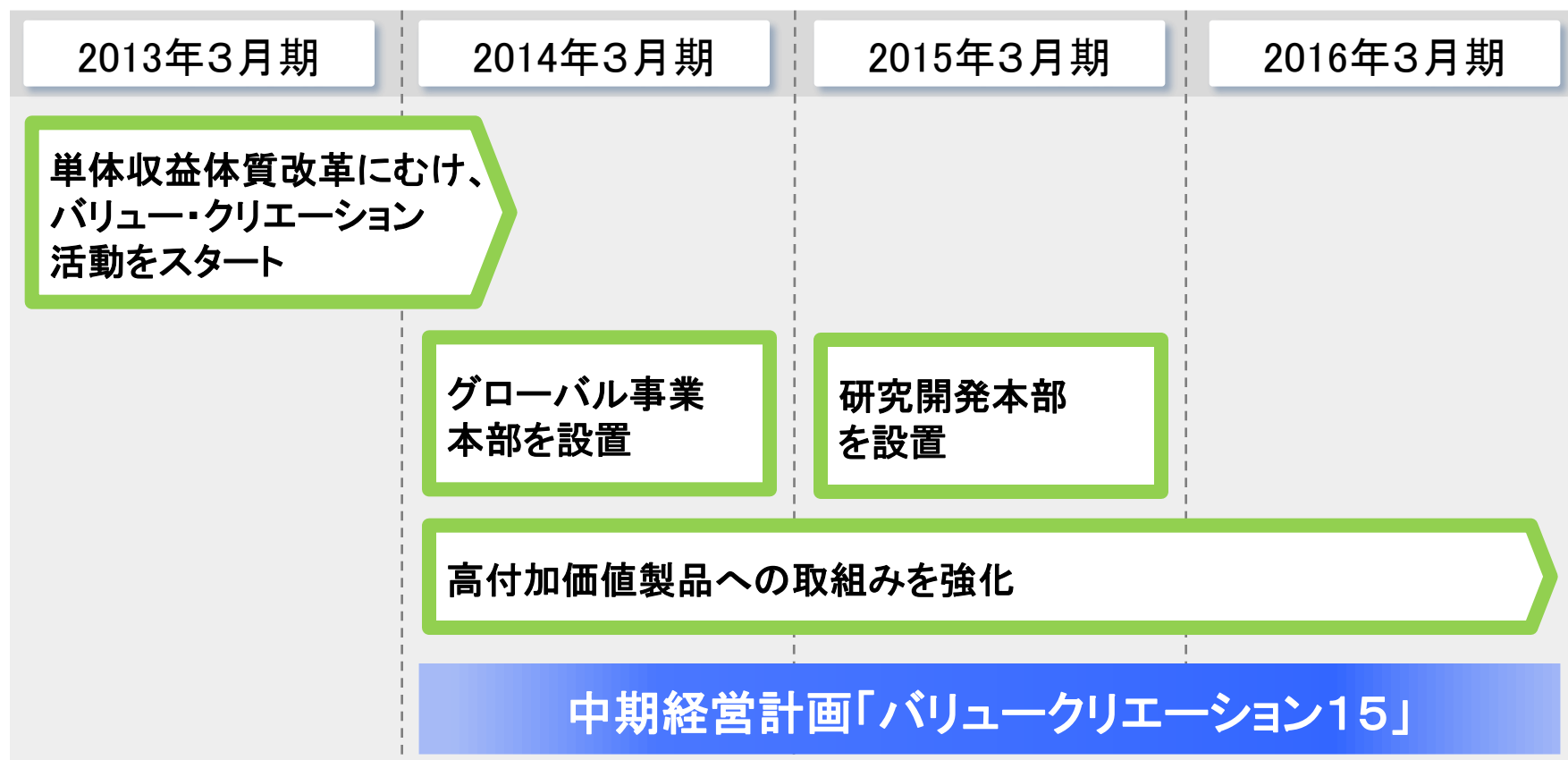
	日本	中国	東南アジア他
① グローバル化	■ 戦略本社 グローバル事業本部新設		
	■ 米州戦略		■ 欧州戦略
② 新市場の 開拓	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ マーケティング                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療関連</li> <li>・食品/飲料関連</li> <li>・金属光造形技術</li> </ul> </li> </ul>	■ 内陸部市場攻略	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 東南アジア新体制のフルスイング                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・マレーシアを製販のコア拠点とした事業基盤確立</li> <li>・インドネシア合併事業の早期立ち上げ</li> </ul> </li> <li>■ インド                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車の深耕と家電攻略</li> </ul> </li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ R&amp;D                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究開発本部</li> </ul> </li> </ul>	■ 戦略製品拡販	■ 超硬事業拡大
③ 高収益事業 への転換			



# 地域別の進捗①日本

当社、中国グループ&東南アジアグループをコアにグローバルマーケティング推進と日中連携で研究開発体制強化。

## 【主要なプロジェクト】



# 地域別の進捗②中国

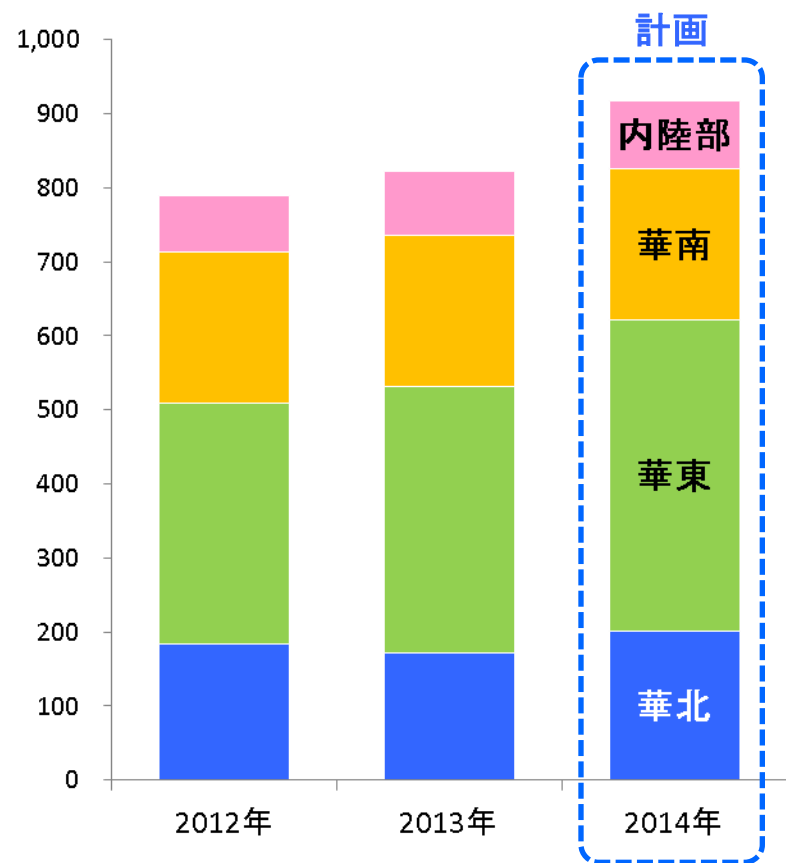
## 内陸部攻略

重慶での生産・物流拠点の拡充に加え、販売体制も更に強化し、成長市場へ積極的に展開。

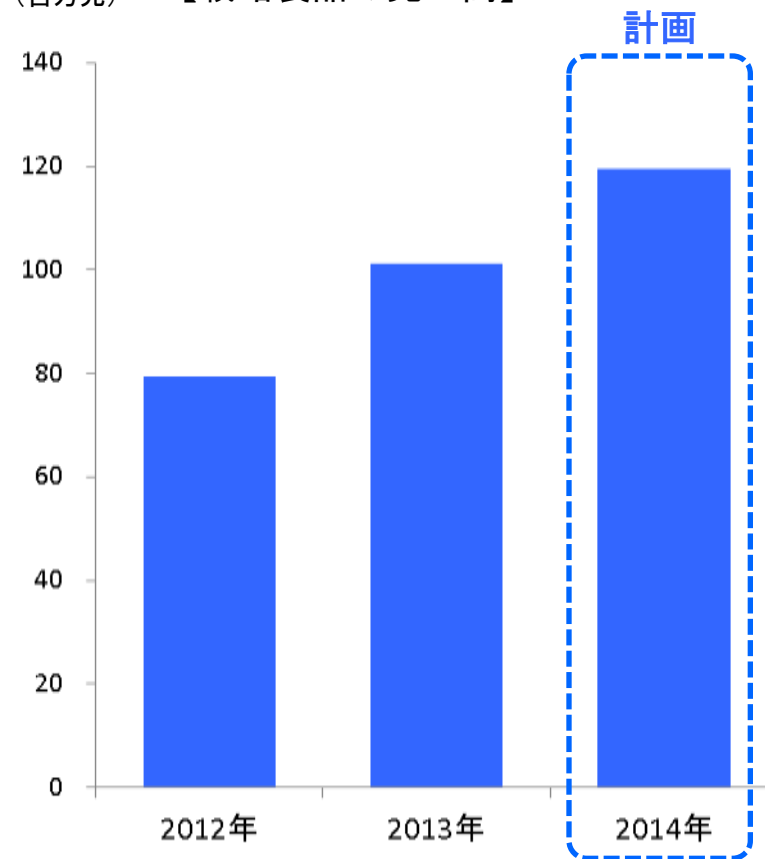
## 戦略製品拡販

研究開発成果である戦略製品拡販で収益性改善と投資回収。

【地域別売上高】



【戦略製品の売上高】

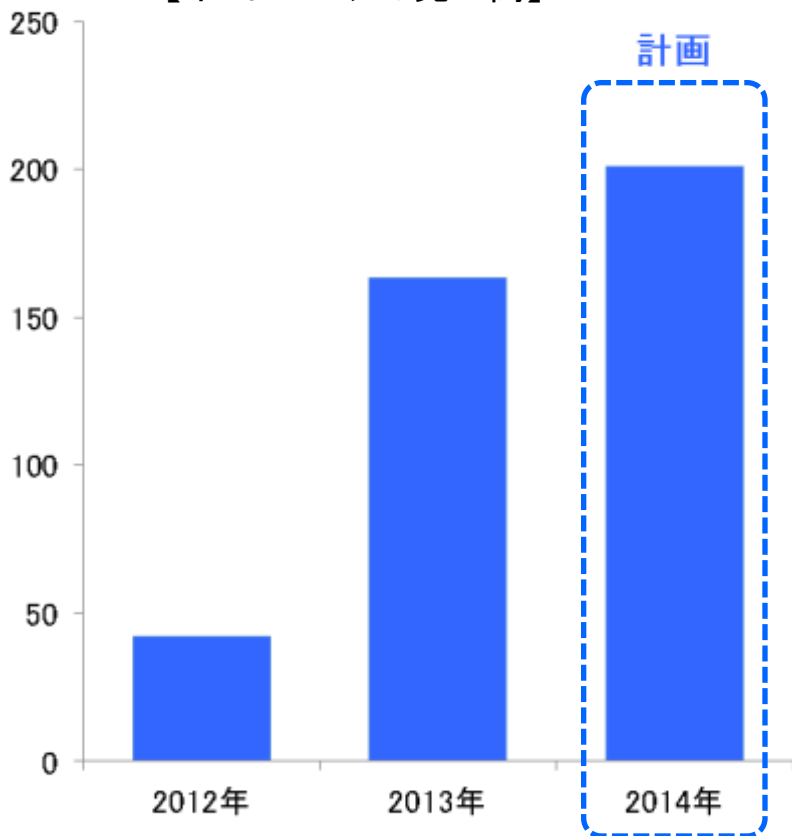


# 地域別の進捗③インド・東南アジア他

## インドパンチ

戦略的に営業人員を配置し、自動車関連の深耕に加え、家電・電子部品分野等の受注活動を強化。

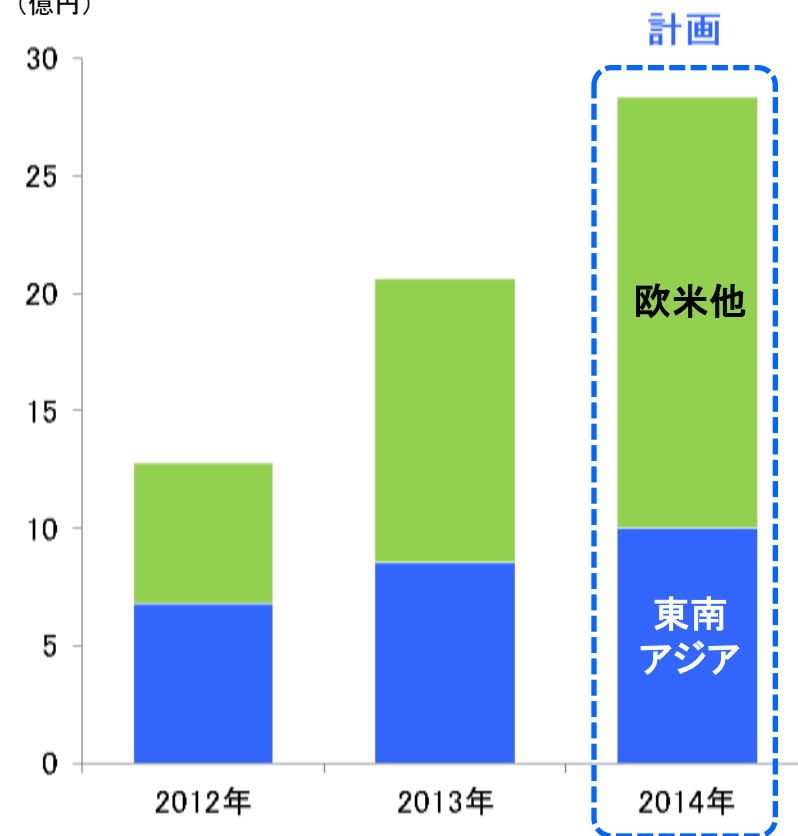
(百万円) 【インドパンチの売上高】



## 東南アジア他

各国別に現地で最適な販売体制を構築。

(億円) 【東南アジア他の売上高】







2015年3月 おかげさまで  
創業40周年を迎えます

## 5. 参考資料

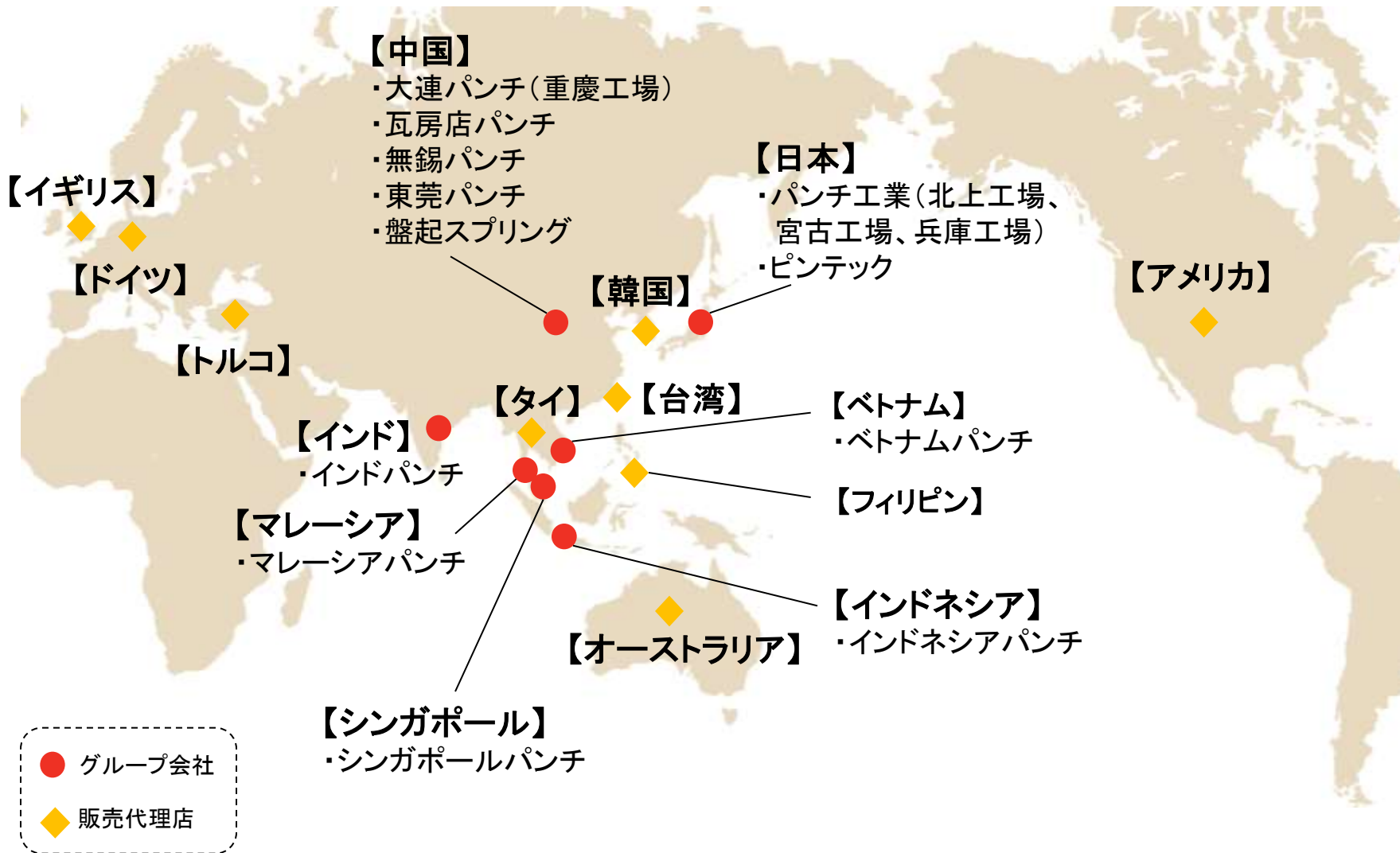
# 会社概要

会社名	パンチ工業株式会社
本社所在地	東京都港区港南二丁目12番23号
設立	1975年3月
資本金	15億7,154万円
従業員数	3,757名(グループ連結、2014年9月末現在)
生産拠点	北上工場(岩手県北上市) 宮古工場(岩手県宮古市) 兵庫工場(兵庫県加西市)
グループ会社	株式会社ピンテック(山形市) 盤起工業(大連)有限公司(中国) 盤起工業(瓦房店)有限公司(中国) 盤起工業(無錫)有限公司(中国) 盤起工業(東莞)有限公司(中国) 盤起弾簧(大連)有限公司(中国) PUNCH INDUSTRY INDIA PVT. LTD.(インド) PUNCH INDUSTRY MALAYSIA SDN. BHD.(マレーシア・ペナン) PANTHER PRECISION TOOLS (KL) SDN. BHD.(マレーシア・クアラルンプール)※ PUNCH INDUSTRY SINGAPORE PTE. LTD.(シンガポール) PUNCH INDUSTRY VIETNAM CO. LTD.(ベトナム) PT. PUNCH INDUSTRY INDONESIA(インドネシア)

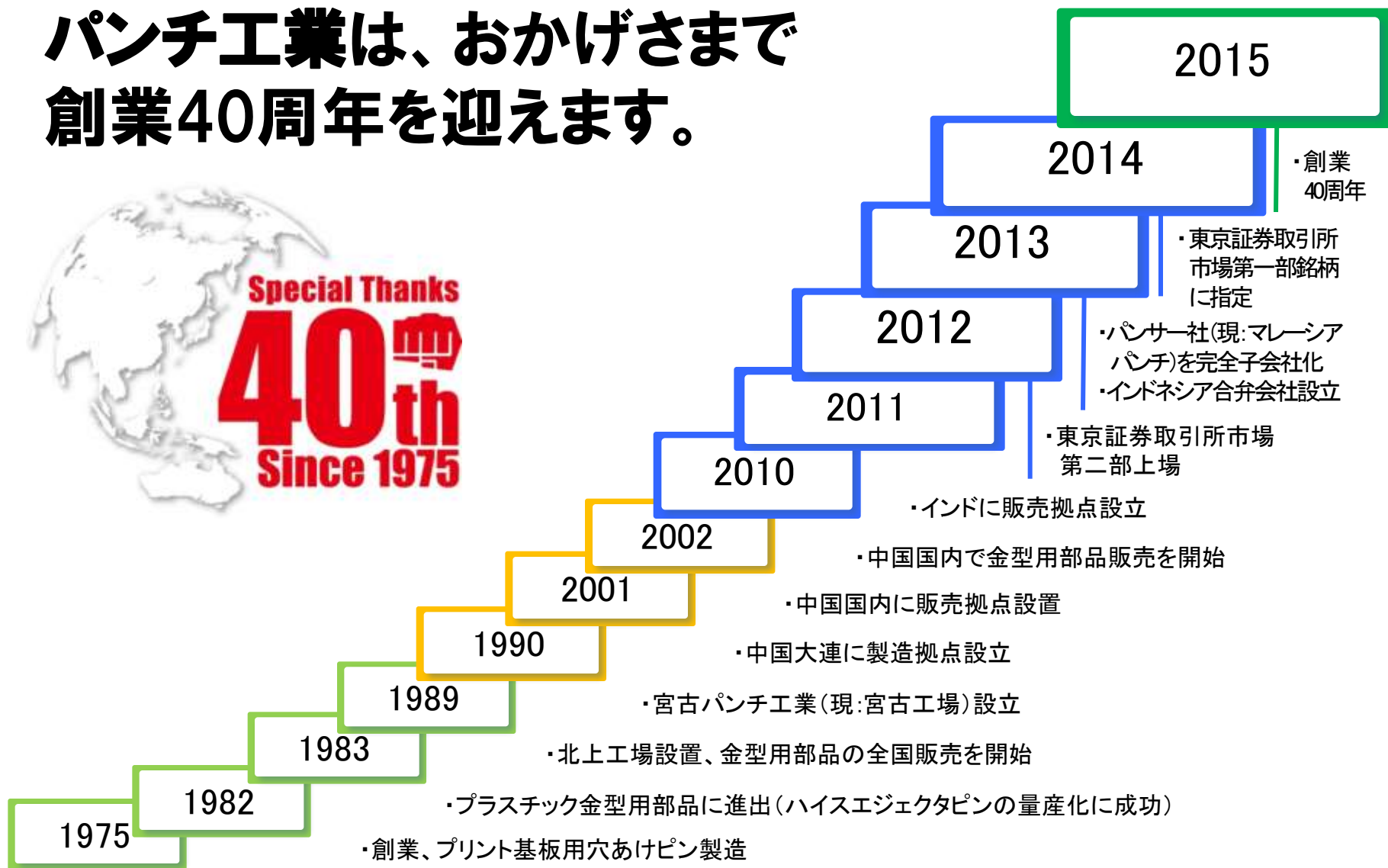
※PANTHER PRECISION TOOLS (KL) SDN. BHD. は、PUNCH INDUSTRY MALAYSIA SDN. BHD.に事業を移管したため、清算手続中でありませぬ。



# パンチグループのネットワーク

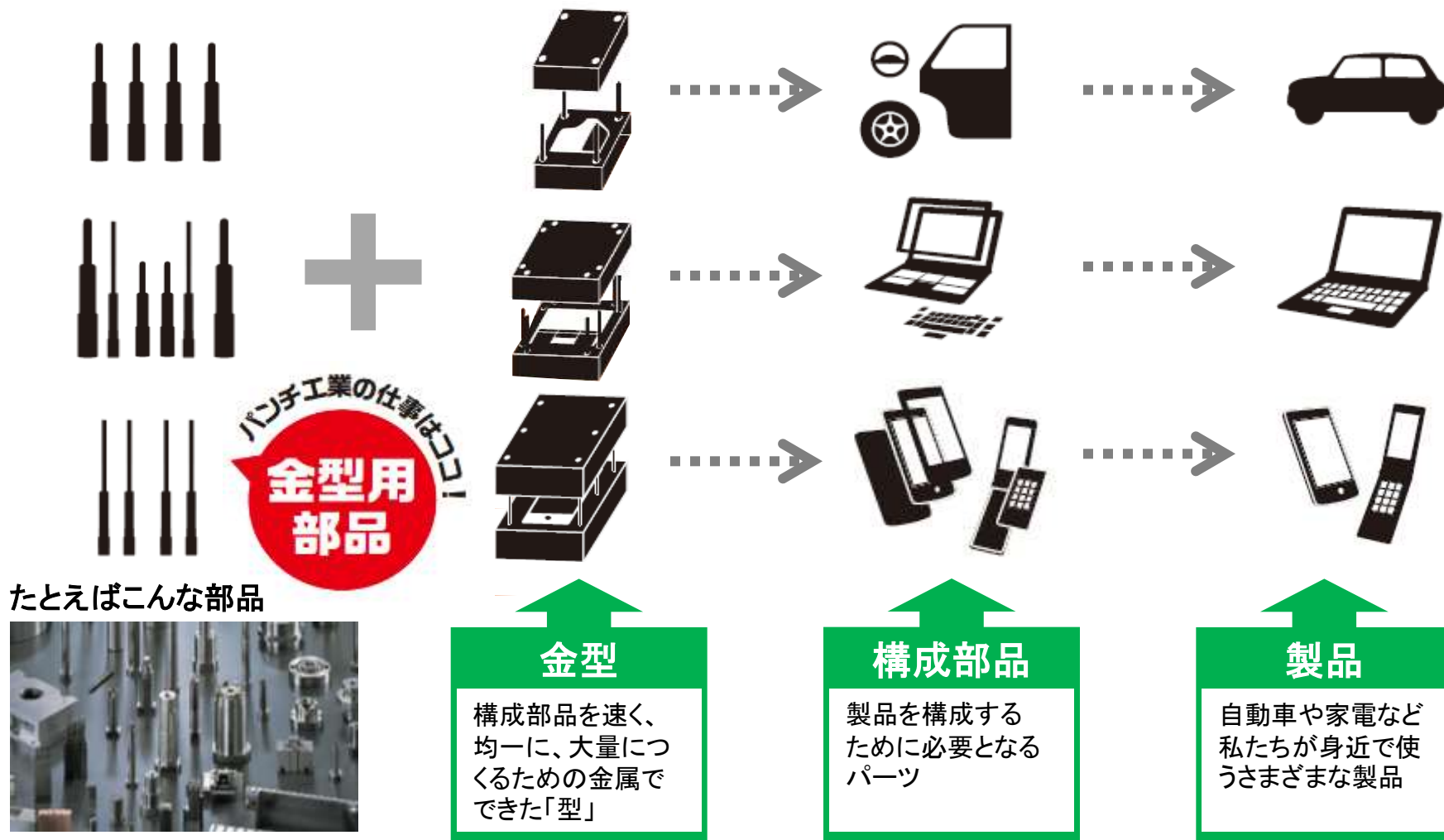


## パンチ工業は、おかげさまで 創業40周年を迎えます。

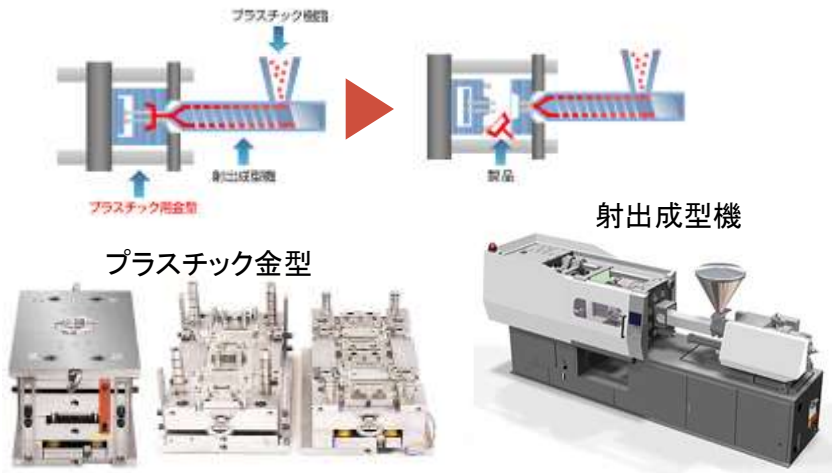


# 事業内容

金型を構成するために、なくてはならない多種多様な精密部品の製造・販売



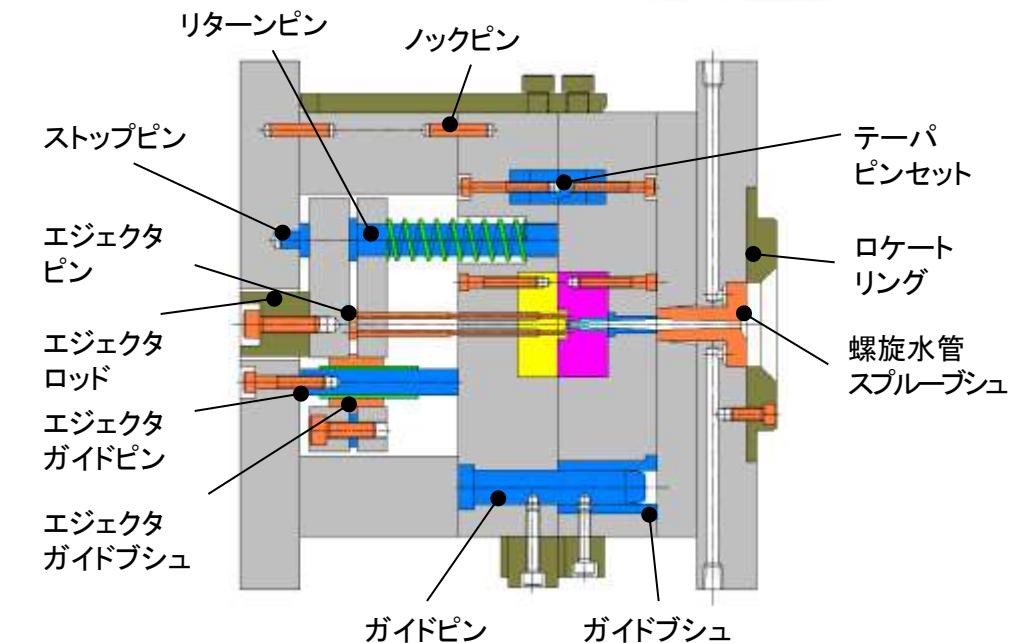
# プラスチック金型と金型用部品



エジェクタピン



スプルーブシュ・ロケートリング



## ●プラスチック金型用部品について

プラスチック金型とは、携帯電話やデジタルカメラの外装など、多くのプラスチック製品の製造に用いられる金型であり、加熱溶融したプラスチック樹脂を、射出成型機に実装された金型に注入し、冷却、固化することにより製品が作られております。

当社グループでは、広範なプラスチック製品の射出成型用金型に組み込まれるエジェクタピン、スプルーブシュ等のプラスチック金型用部品の製造・販売を行っております。

**エジェクタピン**・・・ 成型品を金型から離し、突き出すための部品

**スプルーブシュ**・・・ 射出成型機の射出ノズルから溶融したプラスチックを金型へ流し込むための部品



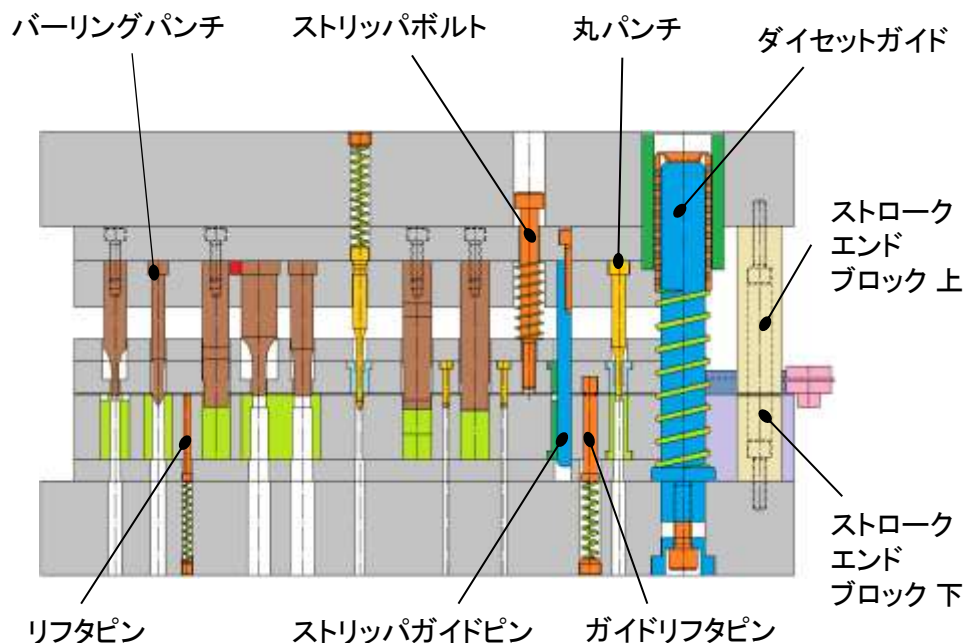
# プレス金型と金型用部品



プレス金型

パンチ

ダイセットガイド



## ●プレス金型用部品について

プレス金型は、プレス機(上下運動する機械)に金型を装着し、上下に分かれた金型の間に材料(金属の鋼板)を入れ、プレス機を稼働することにより、金型で型どられた製品が出来上がります。

当社グループでは、自動車、家電、精密機器などを大量生産するために必要な、プレス加工で使用される金属の鋼板を打ち抜く際に使用するパンチ・ダイ部品、金型の上下の動きを保持するガイド部品等のプレス金型用部品の製造・販売を行っております。

- パンチ…………… パンチは材料に推しつけて使われる工具で、通常はダイと対で使われ、材料に穴をあけたり、形状を転写する部品
- ダイセットガイド… 上型と下型の関係を正しく保つために使用する部品



# パンチグループの強み

## お客様に高い満足度を提供



### 一気通貫の生産体制

1,700台の設備で幅広い対応力

### お客様密着型の営業体制

きめ細かな対応・提案力

## 高い技術力

創業以来培ったノウハウとたゆまぬ研究開発



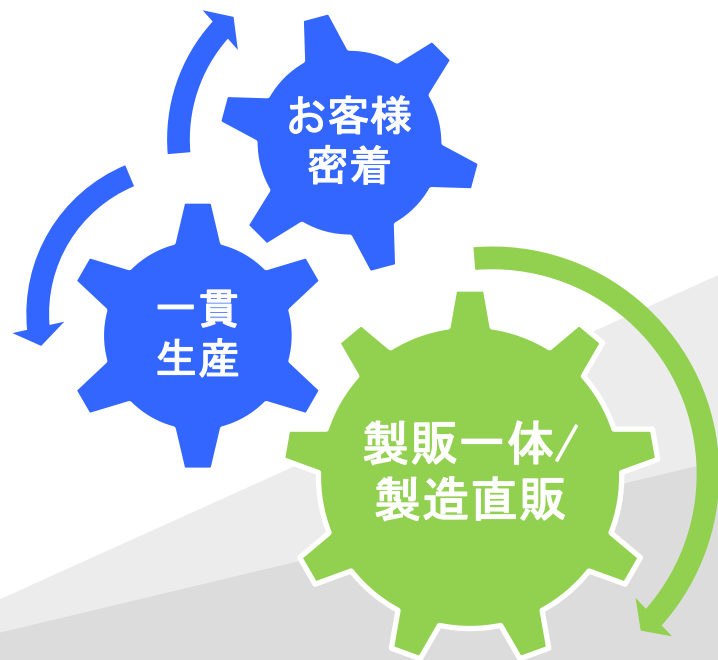


# CSR経営と企業ビジョン

## CSR経営

世界のものづくりを支える企業であり続けるために  
CSR経営を実行しています。

## 企業ビジョン

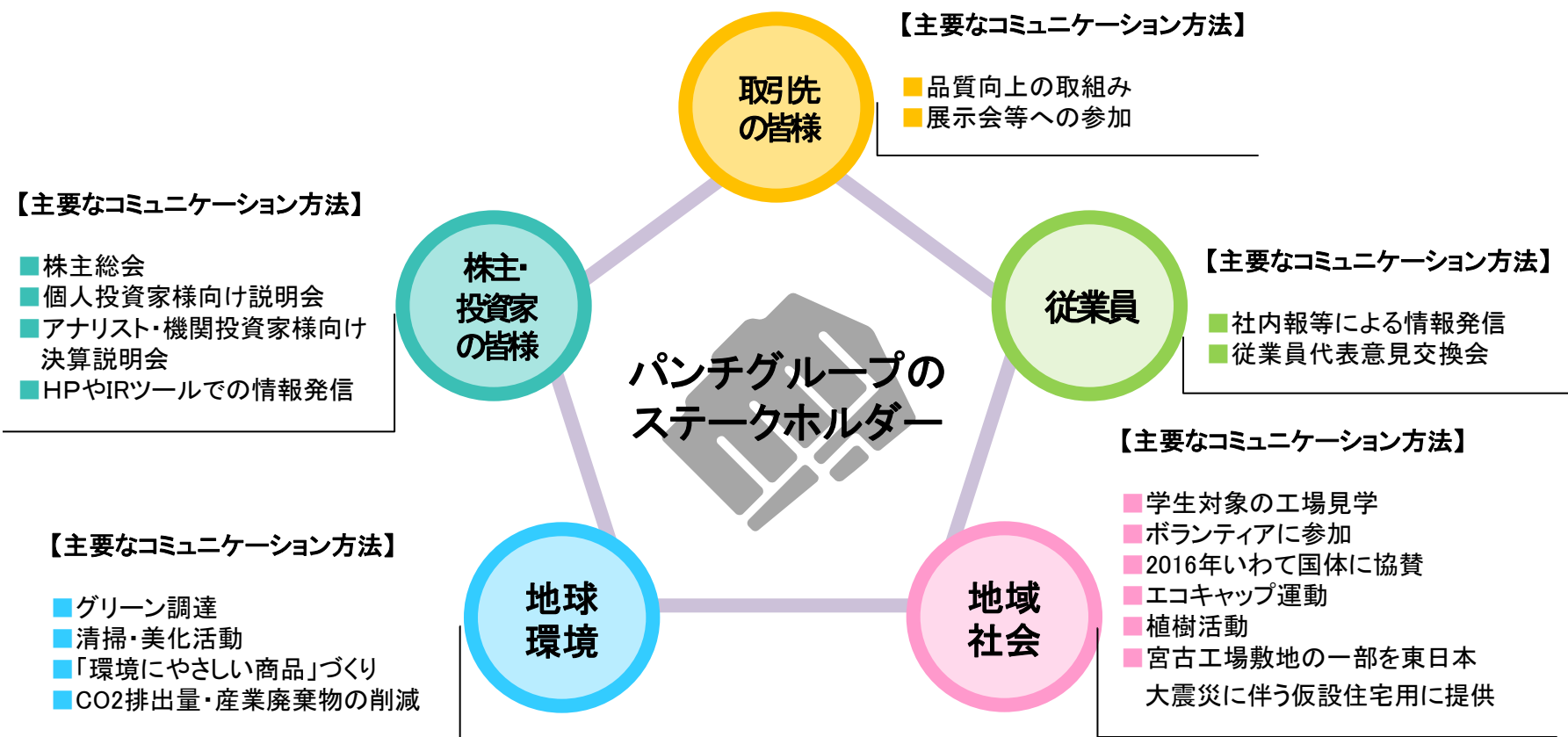


## 世界のパンチへ

金型部品業界での  
トップブランドを確立し  
製販一体企業としての  
優位性を活かした  
高収益企業を目指す



# ステークホルダーとのコミュニケーション



決算説明会の様子



個人投資家様向け会社説明会の様子



植樹活動の様子



エコキャップ運動

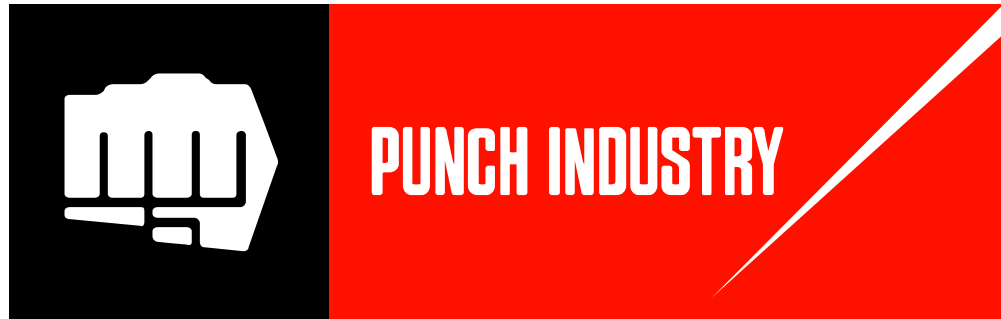


【環境にやさしい】  
マーク

# 本日はありがとうございました。

## IRに関するお問い合わせ先

パンチ工業株式会社 総務部コーポレート課  
電話: 03-5460-8237 e-mail: info-corp@punch.co.jp



### 将来見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。